

3D活用実態を調査

国交省

CIM、次期情報化戦略に反映

国土交通省は、民間工事などでの情報化施工に3次元モデルの活用実態について調査を始めた。これまでの情報化施工推進会議でも、施工だけでなく設計や管理にも3次元データの活用を求める意見が出ており、実績や採用による効果、課題などを企業にヒアリングする。調査の結果は、9月にもまとめる予定。調査結果は今後導入を目指すCIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）の活用にも反映させたい考えだ。

調査では、2013年度からの次期情報化施工推進戦略の策定に向け、情報化施工の導入実績や技術の習熟度、機器の普及状況などを把握し、計画に反映させる。09年度から11年度までに実施した情報化施工について、技術や実施工事、技術の習得方法などを調査する。既に、▽全国建設業協会▽日本機械土工協会▽日本建設機械施工協会▽日本道路建設業協会▽日本建設業連合会——の5団体にアンケートを送付しており、会員企業の回答を求める。工事は公

共、民間を問わず調査するが、直轄工事については地方整備局を通じて件数などを把握しているため、民間工事での活用状況が調査の柱になる見込みだ。調査は09年度に続いて2度目。今回の調査では、新たに3次元CADなどの3次元モデルを活用した工事実績の有無や、活用した目的や効果、課題などに関する質問を追加。活用状況を把握した上で、今後の普及方法などの基礎資料とする。次期戦略の策定に向けて、

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| ⑬ 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| 16. 建設工業 | | |

平成24年17月26日(朝)・夕) P /